

災害から**命**を守る!! なぜ必要?? ジェンダー平等の視点Ⅱ

自然災害が多発している日本。

私たちが住む福岡でもいつ大規模な災害が起こるかわかりません。

今回は避難所運営ゲーム HUGと地域防災をテーマにした寸劇を通して、避難所運営に必要なジェンダー平等の多様な視点について考えていきます。

「平常時にできないことは、非常時にはなおさらできない」

普段から災害時の対応について考えておくことが大切です。

みんなで楽しく、防災について学びませんか？！



防災士のトシ子さん

託児
あり

参加費
無料

定員
60名

日時

2025年

9月7日(日)

13:30~15:30(開場13:00)

会場

アミカス4階 ホール

(福岡市南区高宮3丁目3-1)

西鉄高宮駅西口すぐ

お申込み

右の申込フォームからお申込みください。

下記アドレスからお申込みの場合は、氏名、ご連絡先、託児の有無を明記の上、お送りください。 E-mail: gefcamail@gmail.com

プログラム

第一部

避難所運営ゲーム HUG

ファシリテーター

防災士・防災デザイナー 江崎俊子

NPO法人 ジェンダー平等福岡市民の会 理事

第二部

寸劇で高めよう!

防災イメージネーション

+ コミュニケーション

・那珂川市男女共同参画地域づくり推進委員会
「座・しゃくなげ」による寸劇 上演

・意見交換



申込フォーム

避難所運営ゲーム HUGってどんなゲーム？

「避難所運営ゲームHUG（ハグ）」は、災害時の避難所運営を疑似体験できる、カード形式の防災教育ツールです。

HUGは、避難者の年齢や性別、国籍や特別なニーズなど、多様な背景を持つ避難者が避難所にやってくる設定で進行します。参加者は、そのような人たちを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどのように配置していくかを考えていきます。また、避難所で起こる様々な出来事がイベントカードとして準備されていて、どのように対応し、避難所を運営していくかをグループで話し合い、決定します。

避難所運営の難しさ、多様な避難者のニーズへの理解、そして緊急時の判断力やチームワークをゲーム感覚で学ぶことができます。



寸劇上演



「座・しゃくなげ」のみなさん

那珂川市男女共同参画地域づくり推進委員会 「座・しゃくなげ」について

「座・しゃくなげ」は性別、年齢、職業、経験も様々なメンバー19名で活動しています。

「那珂川にわか」や「寸劇」を通して、ジェンダー平等社会の実現に向けた啓発を行っており、これまでに公民館や商工会など様々なところで130回以上の公演や研修を実施しました。

2024年度には、その実績が評価され、福岡県男女共同参画表彰 社会における女性の活躍推進部門を受賞しました。

NPO法人 ジェンダー平等福岡市民の会について

2004年の「福岡市男女共同参画を推進する条例」制定にともない、2005年「条例をくらしに活かす市民の会」を結成。

2013年7月、NPO法人 ジェンダー平等福岡市民の会（略称gefca）として新たに活動を開始しました。

福岡市のジェンダー平等をすすめるため、福岡市長への提言をはじめ、政治や防災分野で様々な活動をおこなってきました。

性に基づくすべての差別をなくし、自分らしくイキイキと、個性と能力を発揮できるジェンダー平等社会の実現を目指して活動をしています。

◆ これまでの防災に関する取組み ◆

- 2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨
被災地・避難所を訪問し、調査・研修報告書を作成
- 2017～19年度
「福岡県女性のための災害対応力向上講座」を受託・実施
- 2024年
ワークショップ「災害から命を守る!!なぜ必要??ジェンダー平等の視点」を実施
(ハートフルフェスタ福岡2024にて)

お問合せ／お申込先

NPO法人 ジェンダー平等福岡市民の会（gefca）

E-mail：gefcamail@gmail.com

TEL：080-2740-2112（担当 江藤）

HP：https://www.gefca.net/

FAX：092-811-2344



HPIはこちら